

みづゑ第八十五號要目

巴里の郊外(油繪原色版).....	中村 不折
西洋畫の觀方.....	故大下藤次郎
水彩畫用紙の談.....	石川欽一郎
池畔の森(水彩原色版).....	水野 以文
寫生畫透視畫法(二).....	眞野紀太郎
濃淡.....	中村 不折
巴里ゴロツキの首(同).....	ロ ダン
白樺展覽會を觀る.....	T 生
ロダンの彫刻.....	N 生
續三脚物語(一).....	鷗 澤 四 丁
梅林(水彩原色版).....	大下藤次郎
大下藤次郎氏の逸事(上).....	長野菊次郎
倫敦にある舊師へ.....	比奈地畔川
日比谷の午後(水彩原色版).....	後藤 工 志
非人情の記(二).....	矢代 幸 雄
水彩畫研究所新年餘興(寫眞版).....	
寄書.....	讀者の領分.....
	會告.....

「みづゑ」の小史

「みづゑ」は明治三十八年七月大下藤次郎の創刊にして本邦に於ける水彩畫専門研究の最初且つ唯一の雜誌なるのみならず現存洋畫雜誌中にて最古の歴史を有するもの一なり四十四年十月大下死去の後は同人事業の記念として遺族大下春子及び同正男に於て繼續經營することとなり故人の親友及び門下生その他斯道専門家の贊助を得て引きつゞき發行す發刊以來八星霜の間期日を怠まらず毎月一回づゝ發兌して今日に至れり